

これからの子どもの育て方

～2050年 なりたい自分になれる～

帝京大学大学院 教授
帝京大学小学校 校長 石井 卓之



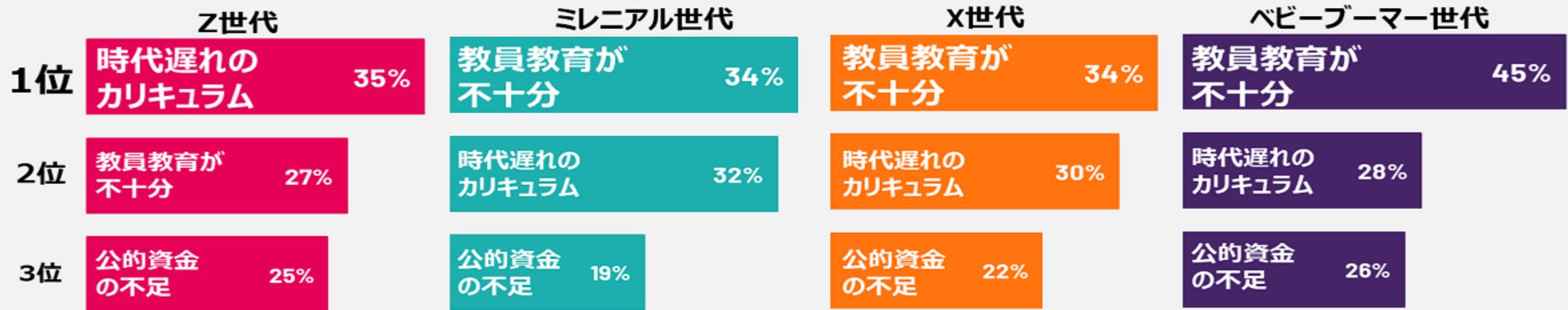
今の学校の実態



教育モニター 2024

あなたの国の教育システムが直面している最大の課題は何だと思えますか？

世代別課題トップ3（日本）



【世代区分（生まれ年）】Z世代：1996年から2012年、ミレニアル世代：1980年から1995年、X世代：1966年から1979年、ベビーブーマー世代：1945年から1965年

イノス「教育モニター2024」調査レポート
イノス株式会社

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000057.000122181.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000057.000122181.html)



日本の教育のよさ

- これまでの海外からの評価
- ・板書技術
 - ・ノート指導
 - ・研究協議会

学習指導要領

- ナショナル
スタンダード
一定の教育水準

G I G A スクール構想

- 全国で実施



特別活動 体 育

- エジプト、中東
- アジア、アフリカ



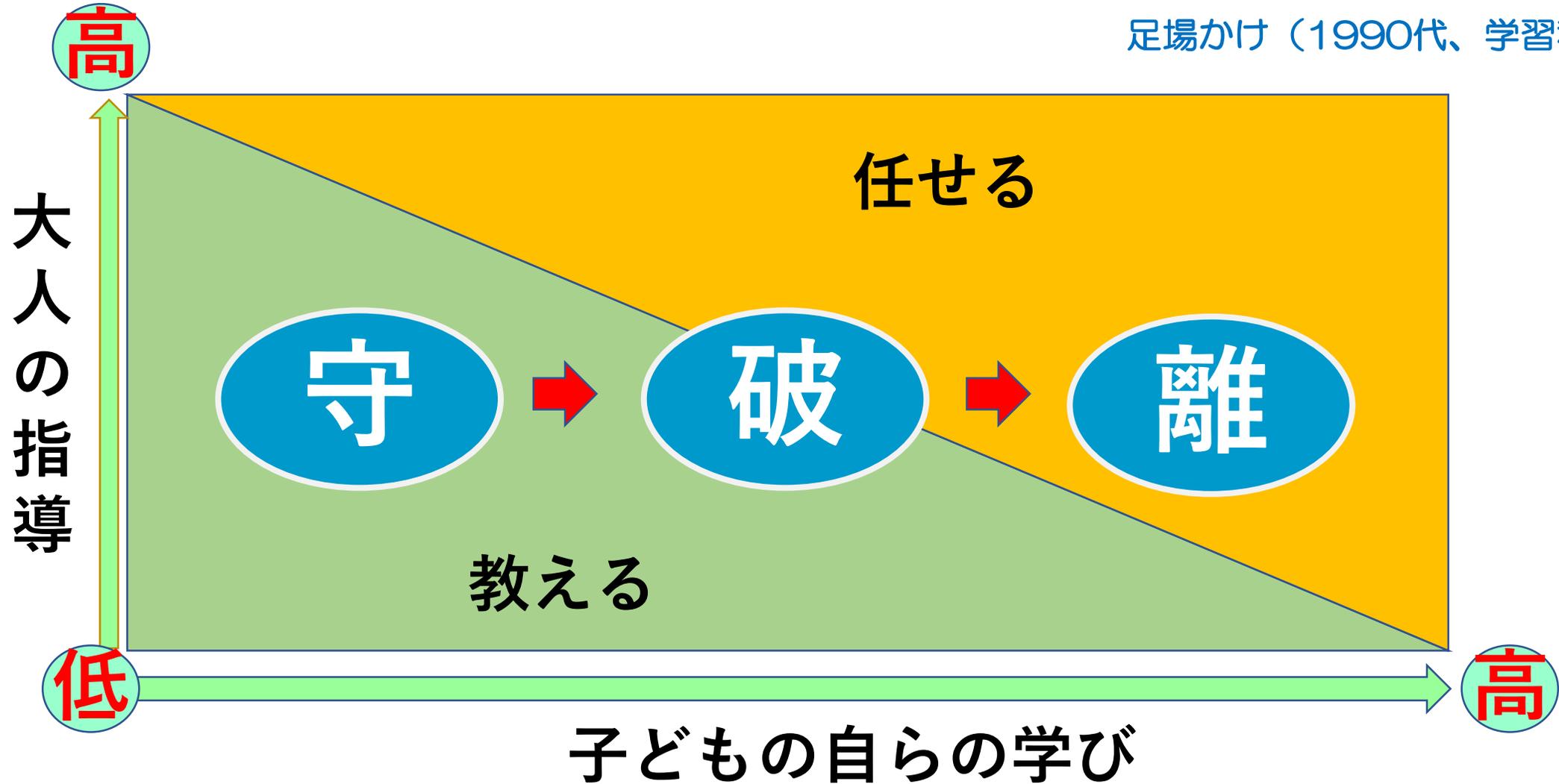
今、求められる力

自分の頭で考える



教えて任せる

足場かけ（1990代、学習科学）



トニー・ワグナー（米の教育学者）

イノベーターが産まれる条件

- ① Play
(遊ぶ、楽しむ)
- ② Passion
(情熱をもつ)
- ③ Purpose
(目的意識をもつ)

※ この順序が大切！

「まず、遊び」
トライ&エラーを繰り返す

- ・ 探究対象を見付ける
- ・ 内発的動機付けが起こる
- ・ 目的意識が生まれる

失敗ゼロはあり得ない

太刀川大輔「進化思考」：エラーは起こらなければならない。エラーが適切に選ばれる必要がある。

そのために必要なのは



学ぶ意欲

学ぶ目的・必要感

1年生の5月

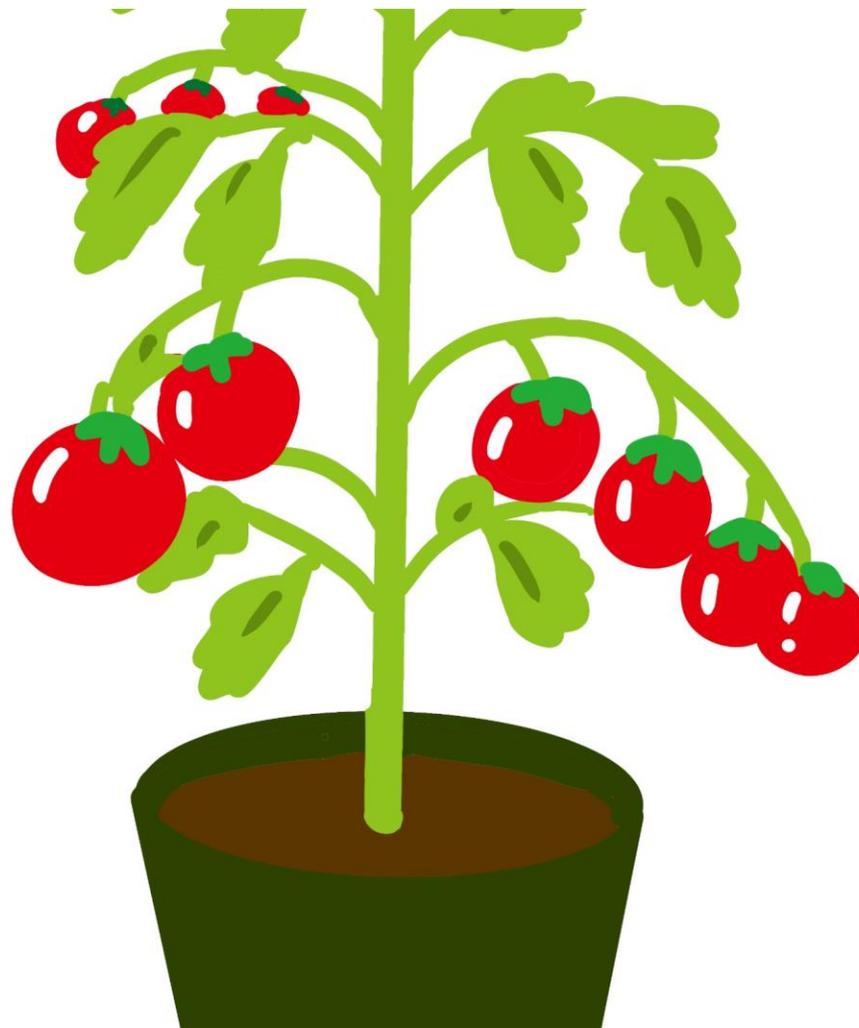
アリを眺める2年生

平均重視
他者比較

平均重視
個性軽視

1 与えすぎない

砂漠の
トマト



Point!



1 与えすぎない

- 三歳の綱引き（バランス）
- 大変だけど、「待つ」
- できたら、即賞賛
「すごい」 → 「〇〇がすごい」

2 環境づくり

幼稚園の 砂場



Point!

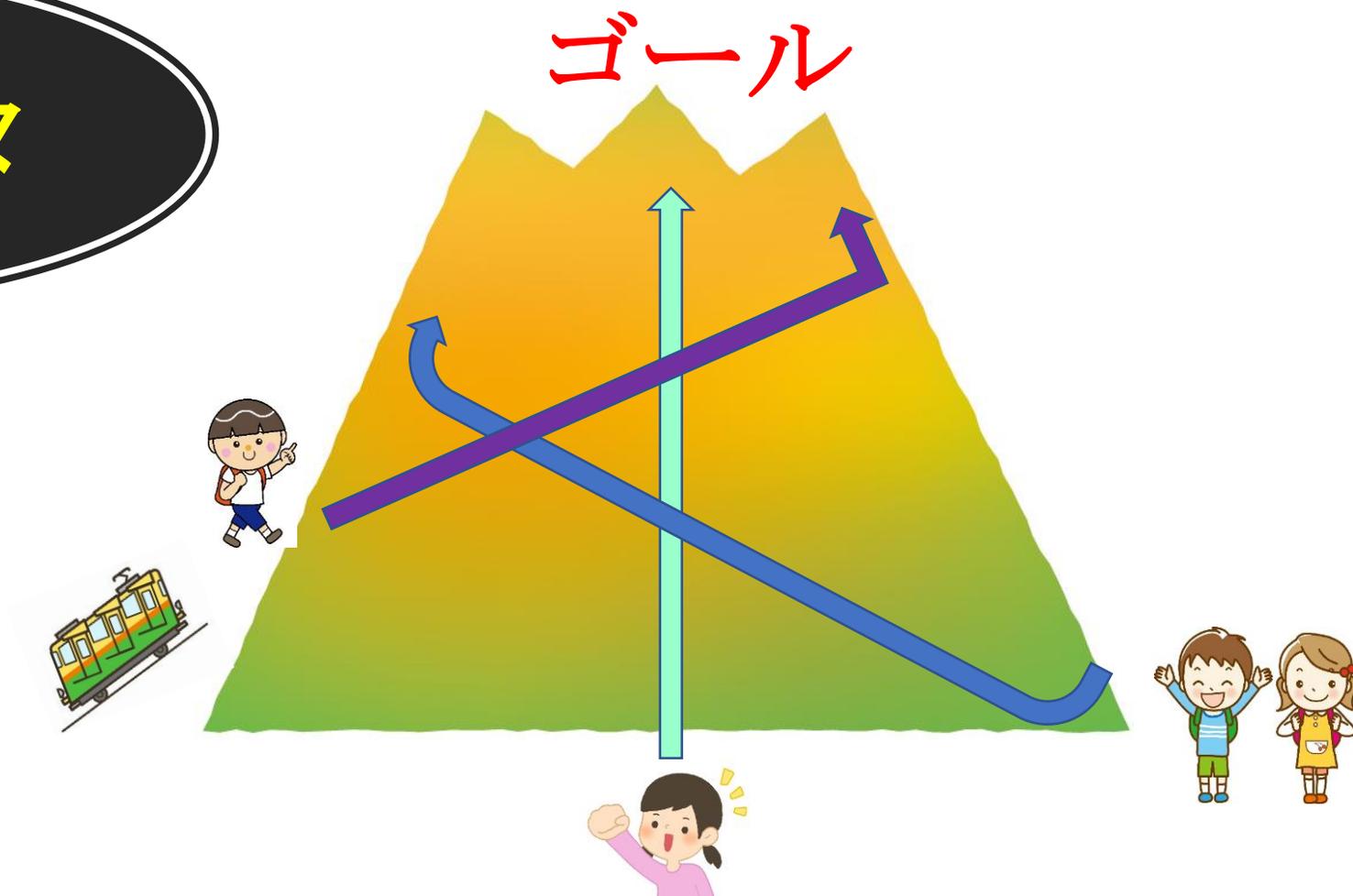


2 環境づくり

- 多様な会話
「何で????」→答える→「何でかな」
- 豊かな体験
(自然、博物館、映画)
- 保護者自身が環境

3 ゴールイメージ

途中は色々



Point!

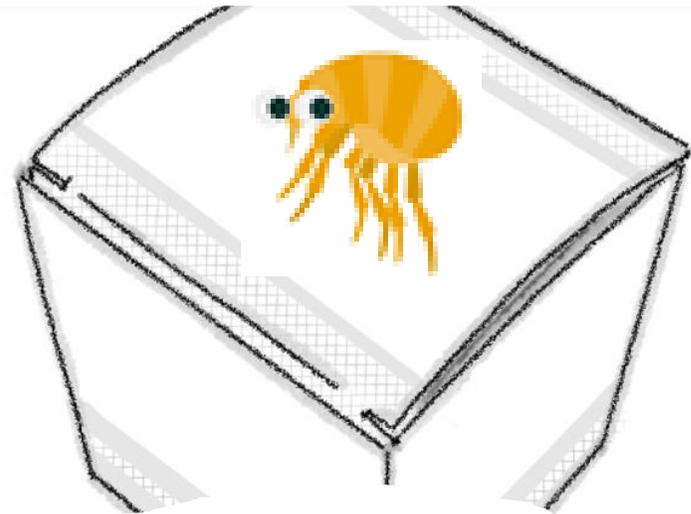


3 ゴールイメージ

- ゴールをイメージさせる
- 下から登らないことも可
- お助けツールも使う

4 失敗を楽しむ

チャレンジ精神



Point!

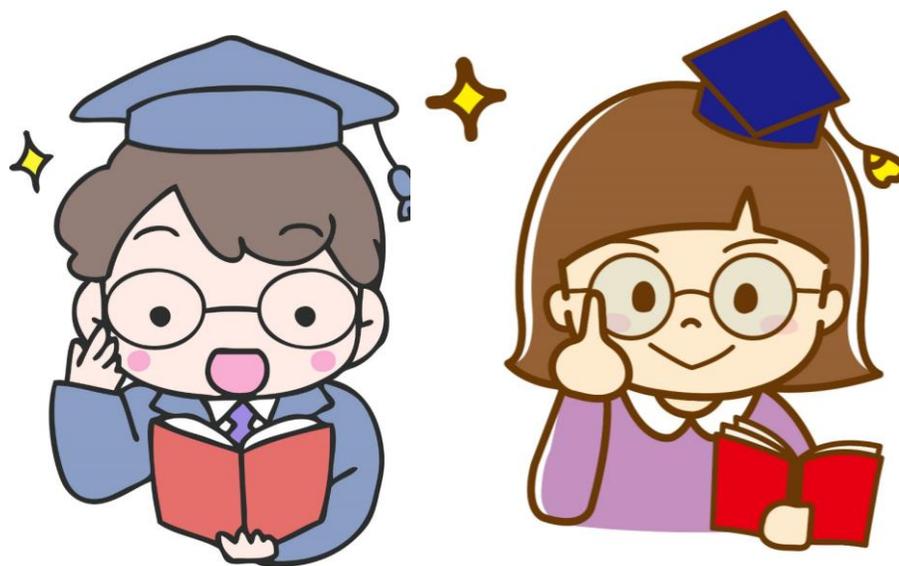


4 失敗を楽しむ

- チャレンジしたことを賞賛
- 一緒に面白がる
一つの正解を求めない
- 他者と比較しない

5 得意なことから

学び方を学ぶ



Point!



5 得意なことから

- イメージは「博士ちゃん」
- 得意なことで学び方を学ぶ
苦手なことに応用する

Point!



まとめ

- 否定を減らし、一緒に楽しむ
「笑顔はありますか？」
- 環境づくりをサポート
- 人としてならぬものはならぬ
- 粘り強さは重要

これからの子どもの育て方

～2050年 なりたい自分になれる～

帝京大学大学院 教授
帝京大学小学校 校長 石井 卓之